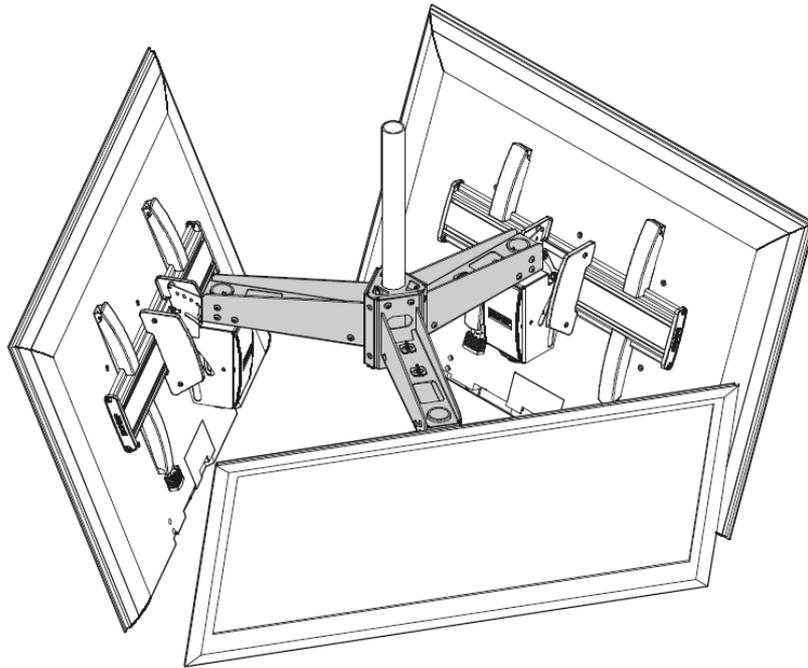


取扱説明書



マルチディスプレイマウント・天吊タイプ 3画面用 型番 LCM3U



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を実際に取り付けてください。
- 天井の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

警告：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に**■設置場所について**

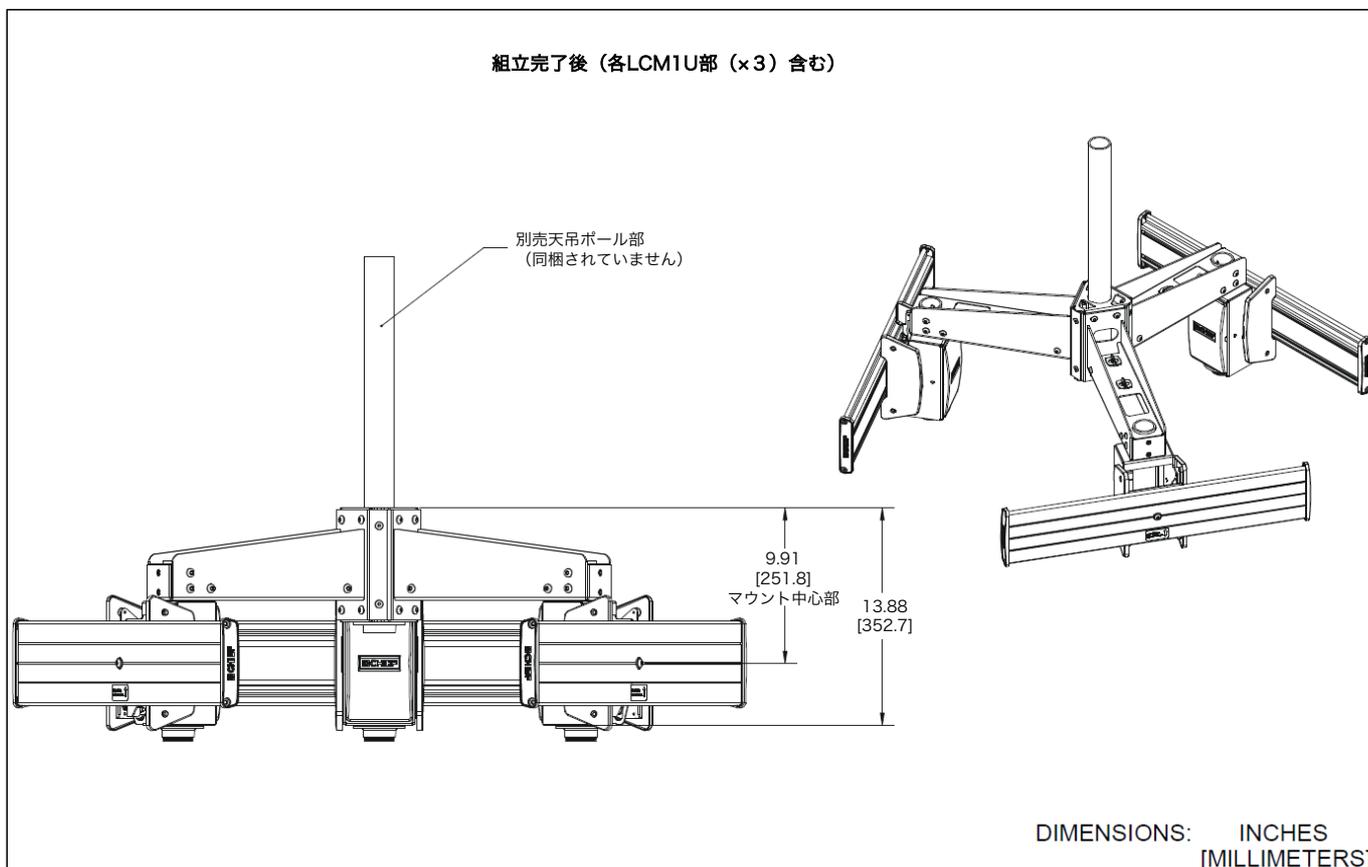
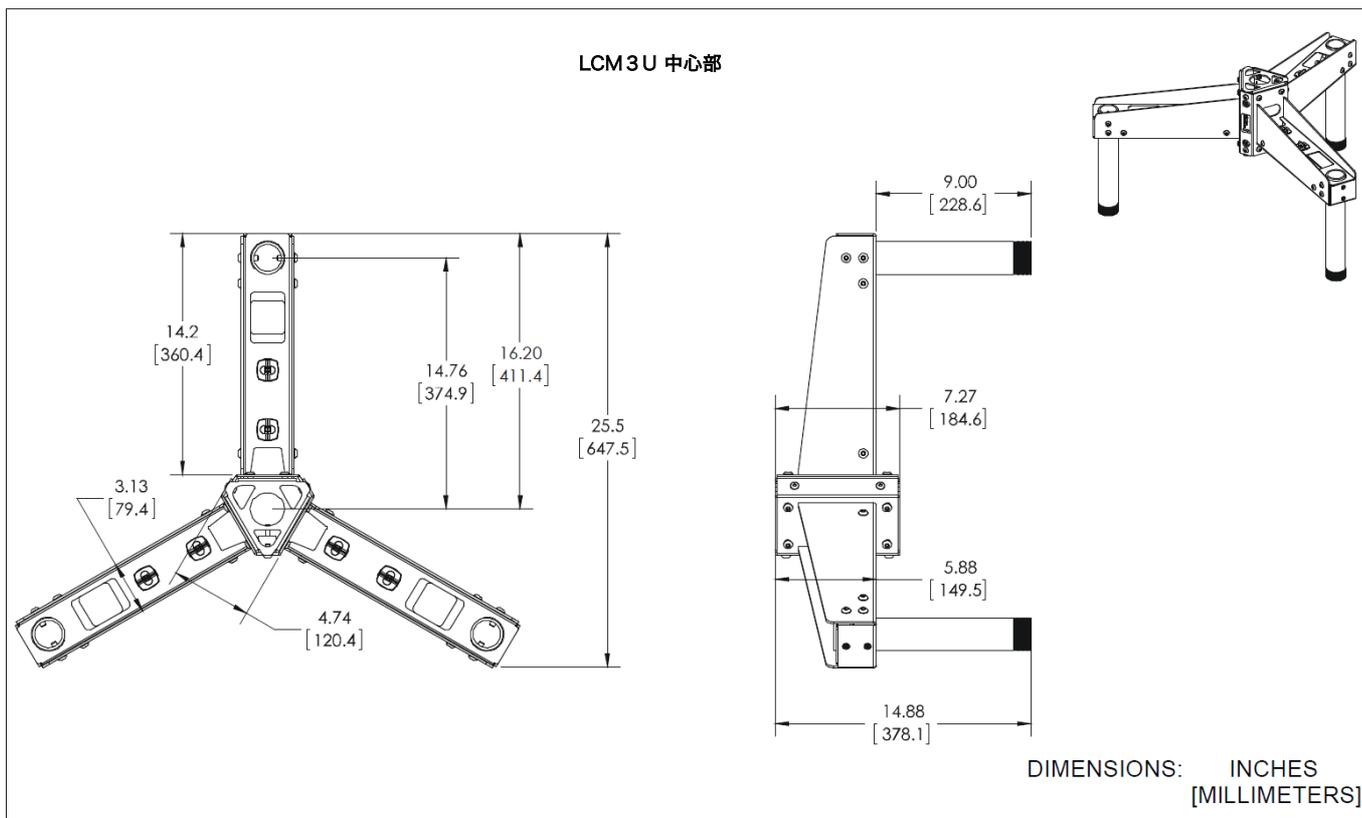
- 本製品は屋内専用です。
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、天井構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの天井面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

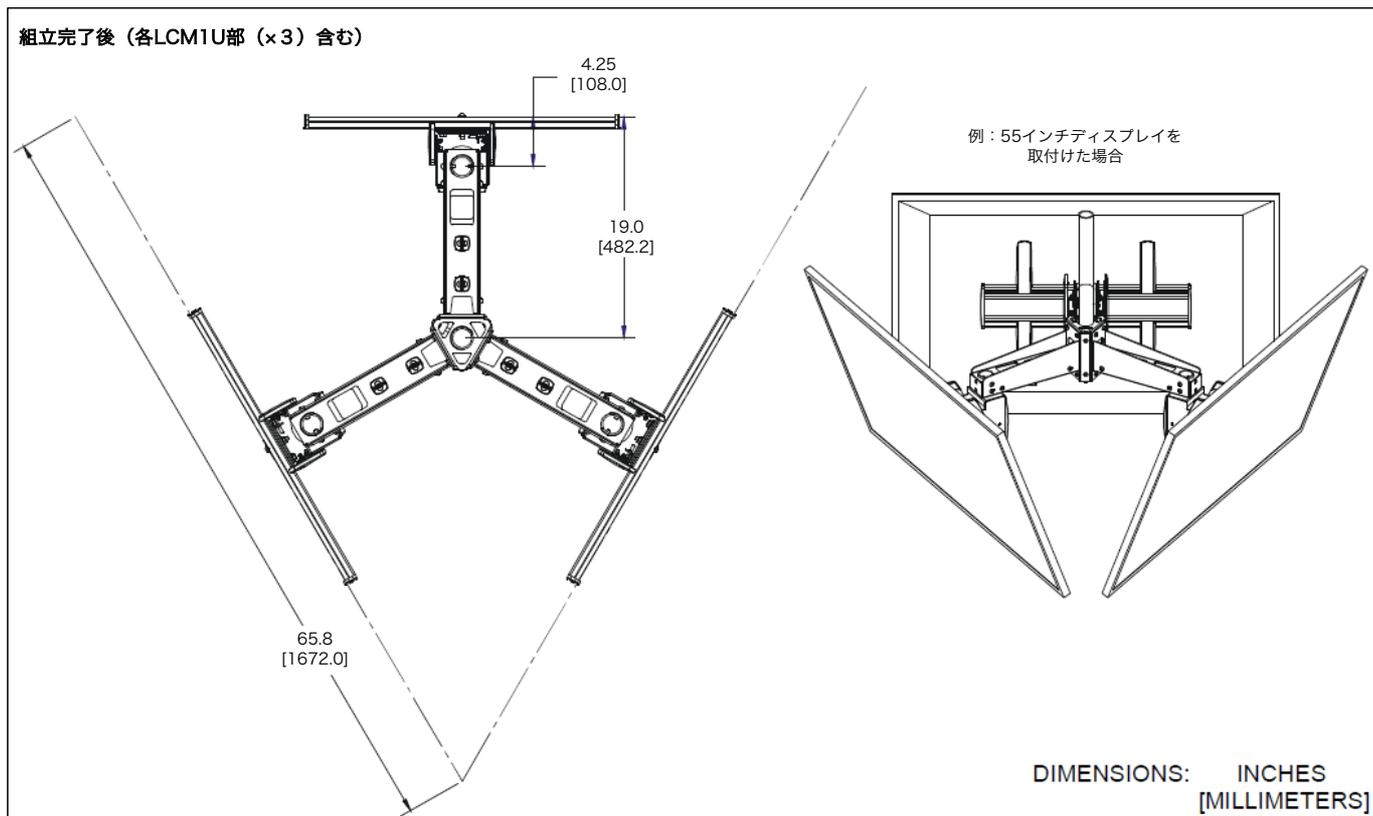
■設置方法

1. 本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、適切な取付場所を決めてください。
2. 設置する天井構造物に対応した取付金具（CHIEFオプション品）、アンカー類やネジ等は、適切で十分な強度を持ったものをご用意ください。必要に応じて構造物に適切な下穴処理やアンカー固定を行なってください。
3. 設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
4. 本製品を構造物にしっかりと取付けてください。

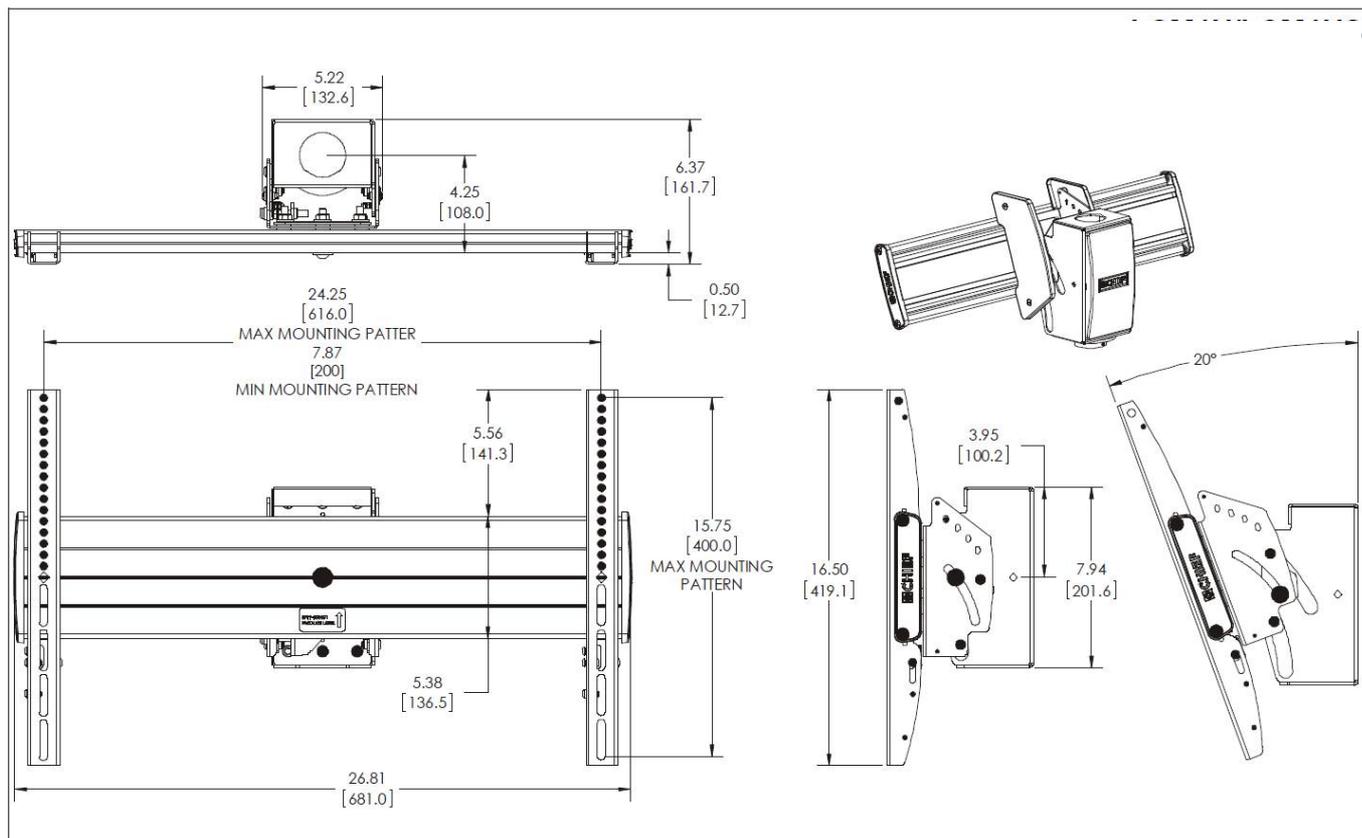
■各寸法図



■各寸法図 (続き)

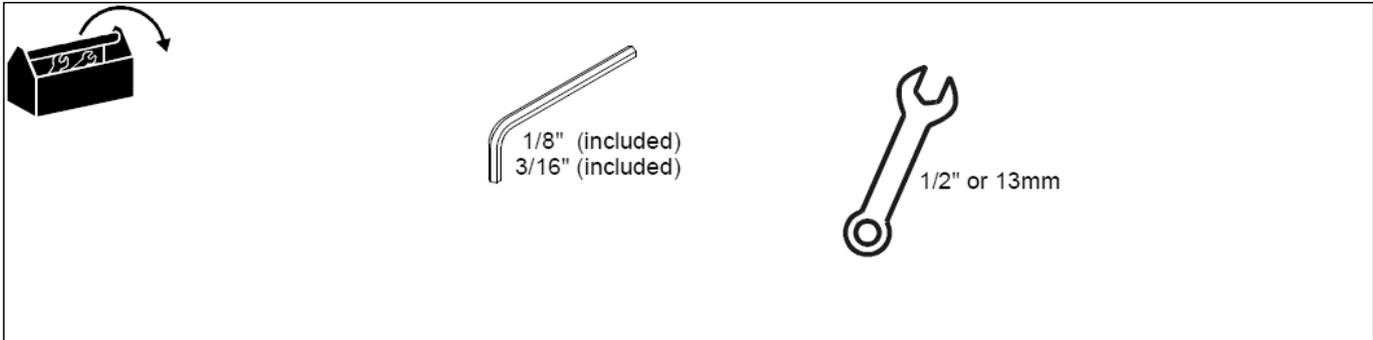


LCM1U部



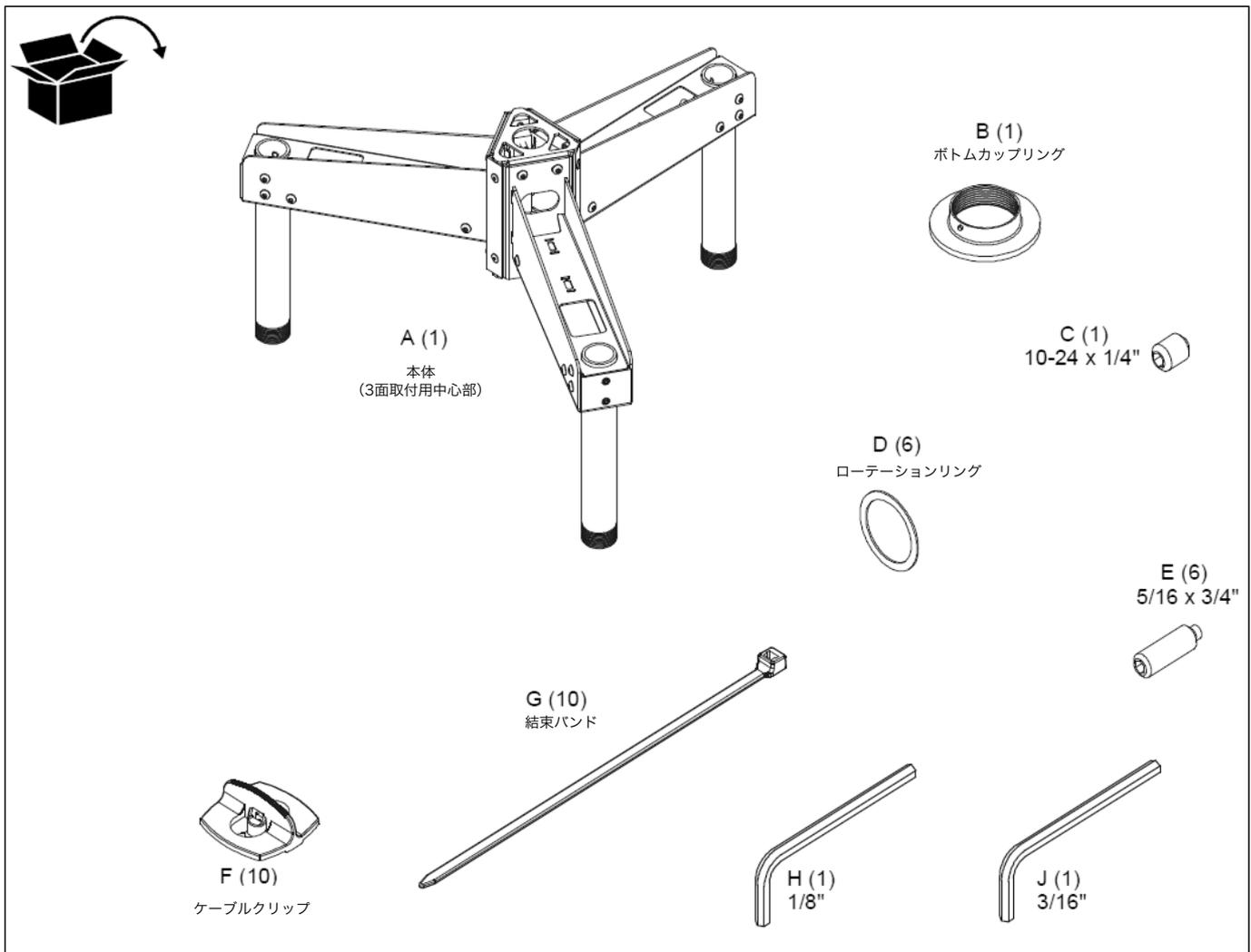
組立手順

■ 本体の組立に最低限準備いただく工具



■ 本製品の封入物

・ 下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認をお願いします。



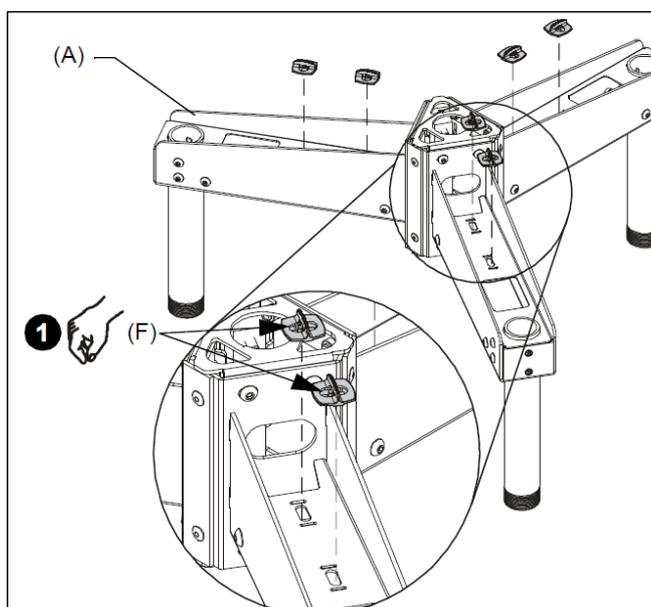
本製品には、上記の他天吊マウントLCM1Uが3セット同梱されております。
各ディスプレイの設置方法は、LCM1Uの取扱説明書もご確認下さい。(この取扱説明書に続き記載されています)

■本体部の組立て

重要！：施工業者の責任において、本製品と取り付ける全ての製品の重量の5倍に耐えられるように補強してください。
最大荷重量は、各3方向の取付ディスプレイ各1台毎に56.7kg(125lbs)です。

・この製品は、天井取付用ですが、取付の際は天井取付金具と延長ポール（CPAシリーズの組合わせ、もしくはCMAとCMSの組合わせ。すべて別売）を使用し、正しく取付けを行なってください。

・組立て前に必ず寸法表を確認してください。

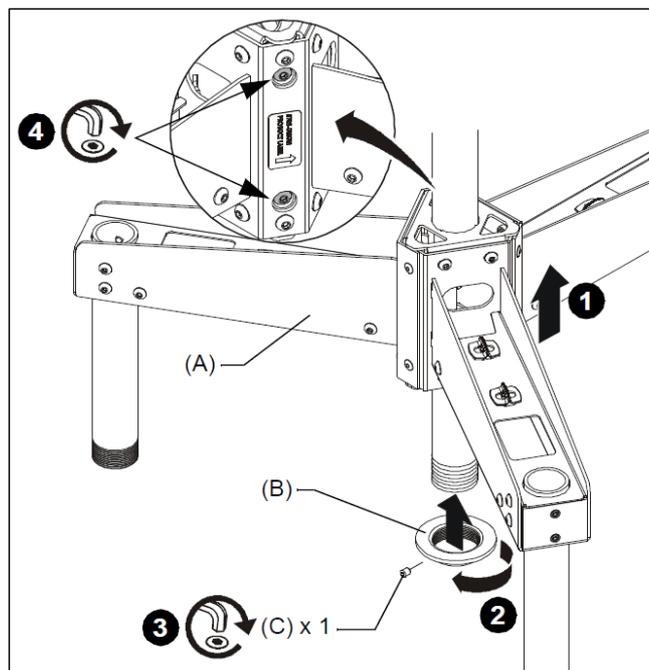


【図-1】

・本体(A)の3方向にケーブルクリップ(F)をそれぞれ図-1のように取付けます。

■天井用延長ポールCMSシリーズ（別売）への取付け（図-2参照）

1. ポール（別売）に本体(A)を差込みます。
2. セットビスを締めて本体(A)とポールを固定し、本体が下にさがらないようにします。
3. ポール（別売）の下部にボトムカップリング(B)を取付けしっかりと廻し留めます。
4. ボトムカップリング(B)を付属ネジ(C)で更に固定します。
5. 2で固定したビスをいったん緩め、本体(A)をボトムカップリング(B)で止まるよう下げます。
6. 5で緩めたセットビスを再度しっかりと留めて固定します。

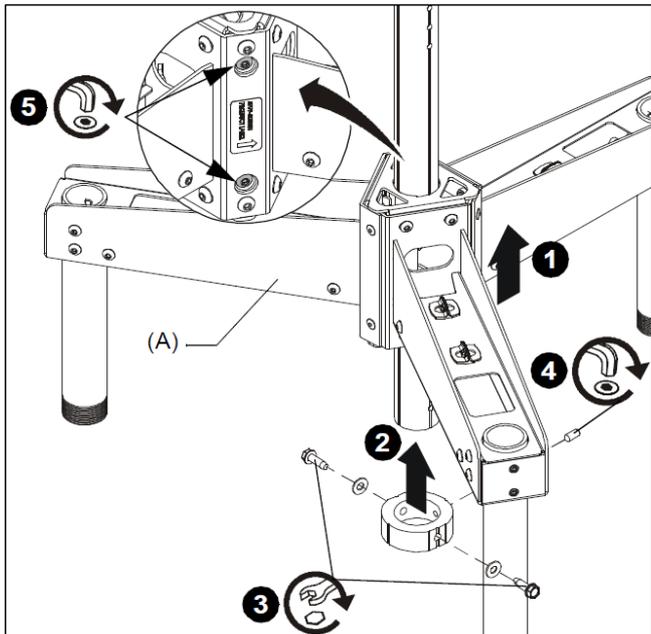


【図-2】

■天井用延長ポールCPAシリーズ（別売）への取付け（7ページ図-3参照）

メモ：下記取付方法内ボトムストッパー及びネジなどの部品は付属LCM1U側に入っているものを使用します。

1. ポール（別売）に本体(A)を差込みます。
2. セットビスを締めて本体(A)とポールを固定し、本体が下にさがらないようにします。
3. ポール（別売）の最下部にボトムストッパー（LCM1Uに付属）を取付けポール側とストッパーの穴の位置を合わせます。
4. 3のストッパーをワッシャーを噛ませてネジで固定します。（ワッシャーとネジもLCM1U側に付属）
5. 2で固定したビスをいったん緩め、本体(A)がボトムストッパー位置で止まるよう下げます。
6. 5で緩めたセットビスを再度しっかりと留めて固定します。



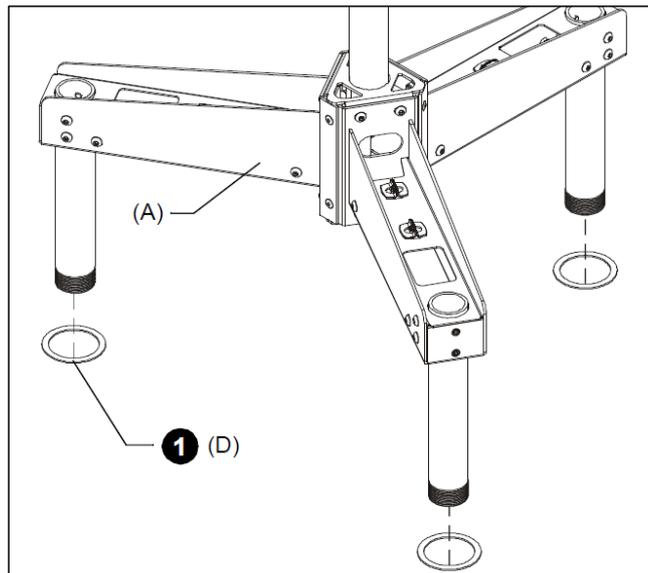
【図-3】

■ディスプレイ側マウントとディスプレイの取付け

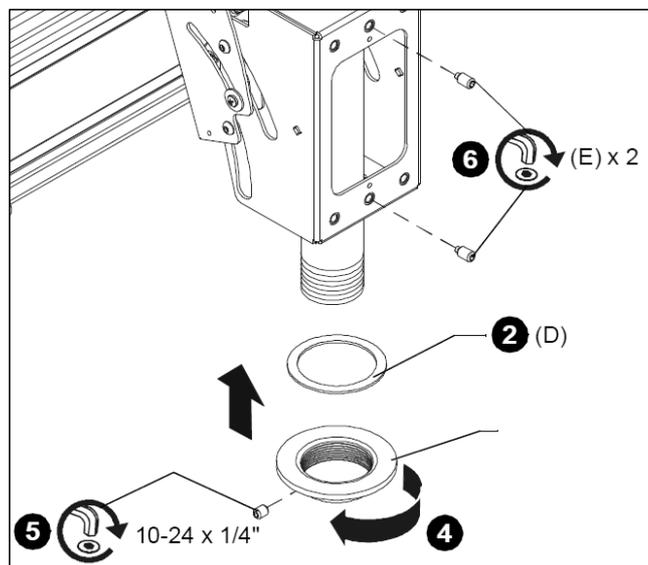
メモ：ここからの作業はLCM1U側の部品を使用します。詳細は8ページに続くLCM1Uの取扱説明書も合わせてご確認ください。

1. (オプション) 最終調整の際、ディスプレイ本体の傾斜角度調整等を行いたい場合は、付属のローテーションリングを本体(A)の3本のディスプレイ設置ポール側にそれぞれ取付けます。(図-4)
2. マウントアセンブリを本体(A)のディスプレイ設置ポール側に設置します。
3. 【図-5】のようにディスプレイ(3台)を取付けるそれぞれのポール(別売)の下部からローテーションリング(D)を取付けます。
4. ボトムカップリングを3.の下から廻し留めます。少なくとも4山以上は廻し留めて下さい。
5. ボトムカップリングが外れないよう、セットビスでさらに留めます。
6. 付属ナイロンセットビス(E)もしくはLCM1U側付属のセットネジでポールとディスプレイマウント(LCM1U側)を留めます。

メモ：ナイロンセットビス(E)は、3台のディスプレイを設置後に回転させ調整する場合にのみ必要です。もし設置後に回転調整が必要無い場合はLCM1U側に付属のネジをお使い下さい。



【図-4】



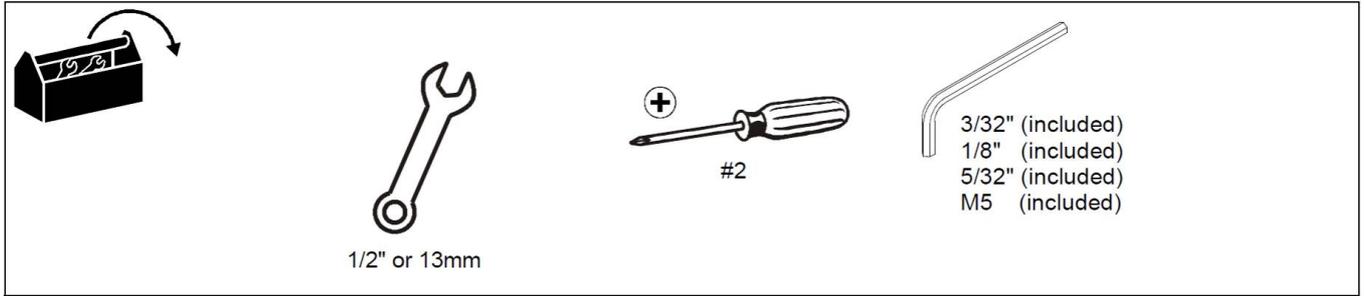
【図-5】

■接続ケーブルの処理

1. ケーブルはポールかアームから引き回すことができます。
2. 最初に取り付けたケーブルクリップ(F)や、結束バンド(G)で、ケーブルを留めて下さい。

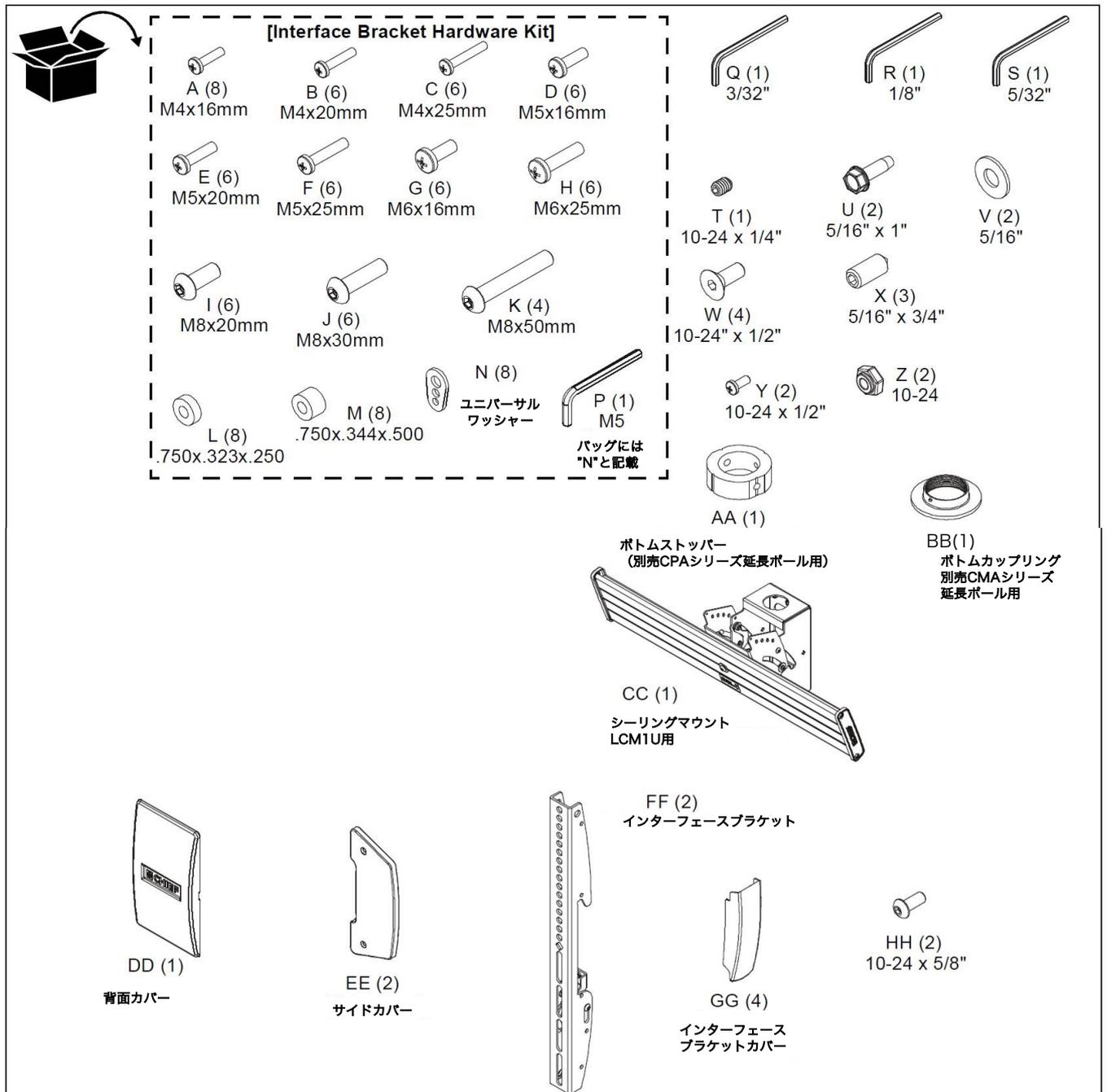
組立手順 (LCM1U部)

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物

・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認をお願いします。



■各ディスプレイ取付部の組立て

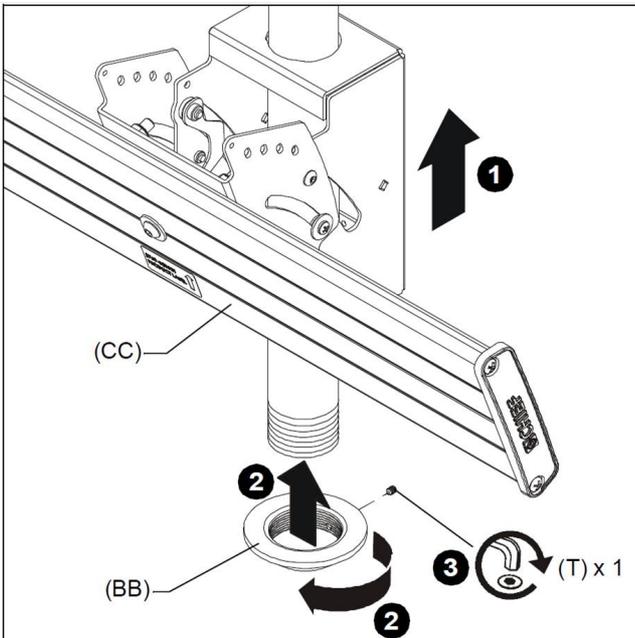
ここからは、LCM1Uの組立説明になります。

あらかじめ、LCM3Uのマルチマウント部分を組立てた上で各LCM1Uを組み立ててください。

※LCM1Uは3セット付属されています。下記方法で3セット同じように組み立ててください。

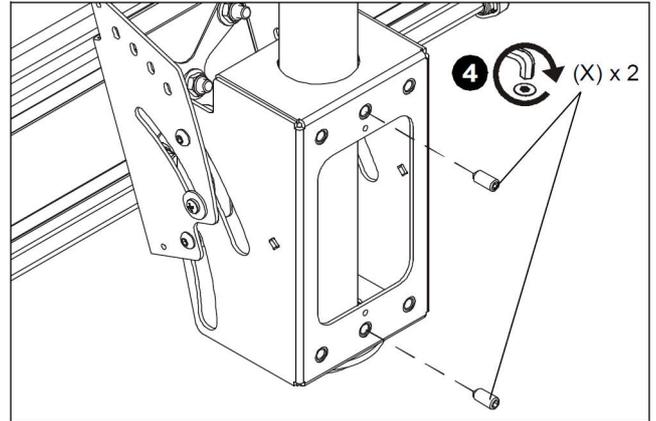
■マルチマウントLCM3U本体への取付け

注意：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。



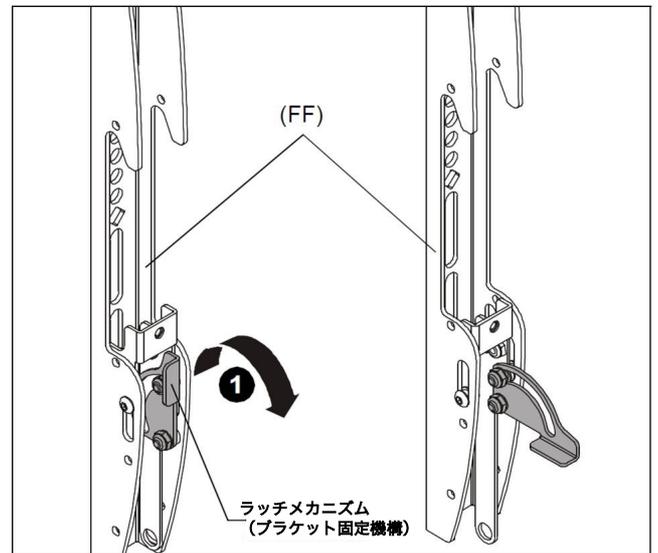
【図-6】

1. 本体マウント部(CC)をポール（別売）の下部から差込みます。
2. ポール（別売）の下部にボトムカップリング(BB)を取付けしっかりと廻し留めます。少なくとも4山以上は廻し留めて下さい。
3. ボトムカップリング(BB)を付属ネジ(T)で更に固定します。
4. 【図-2】のように本体が回らないように付属ネジ(X)で本体マウント部(CC)とポール(別売)部をしっかり留めて下さい。



【図-7】

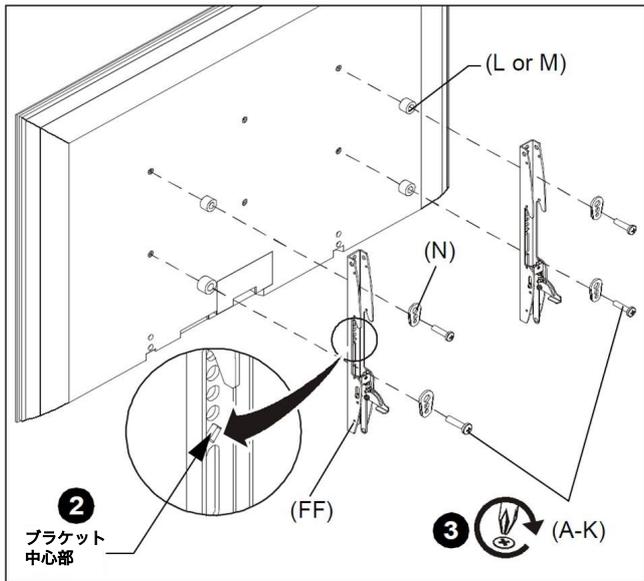
■ディスプレイ側ブラケットの取付け



【図-10】

1. 本体ブラケット部(FF)にはラッチメカニズムがついています。ディスプレイ着脱時はレバーを手前に倒しておきます。
2. 取付けるディスプレイの垂直中心と本体ブラケット(FF)の垂直中心部をあわせませす。
メモ：ブラケットの菱形の穴がちょうど垂直中心になります。
3. 【図-11】 必要に応じてディスプレイとブラケットの間にスペーサー(L)もしくは(M)を挟み、付属ネジの中から適切なタイプ(AからN)を用いてディスプレイに本体ブラケット(FF)を取付けます。

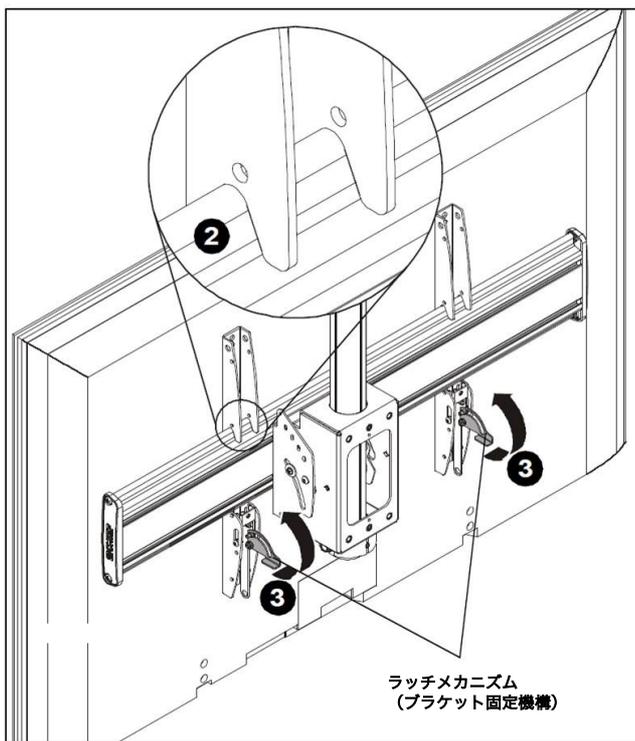
警告：適切なネジを使用しないと、ディスプレイの落下による重大な事故の原因になる可能性があります。
ディスプレイの種類によってスペーサーを用いる、スペーサーとディスプレイまでに十分な長さのネジを使用するなど、必ず適切なタイプをご使用ください。



【図-11】

■ディスプレイの本体マウント側(CC)への取付け

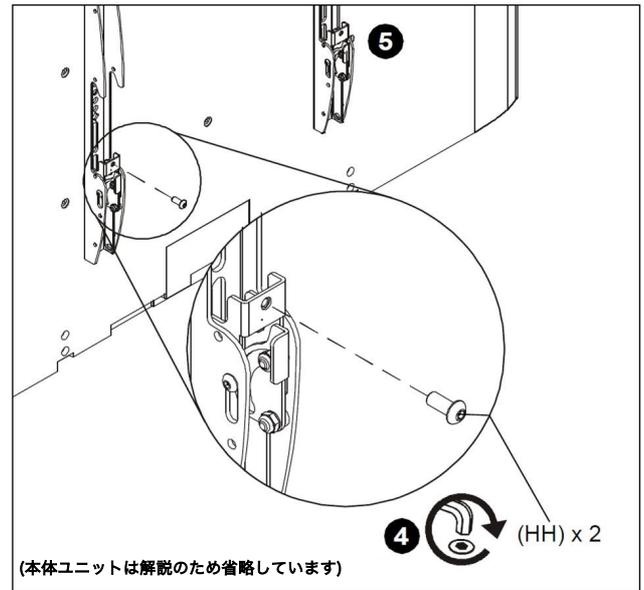
1. 最初に、【図-10】の本体ブラケット部(FF)のラッチメカニズムのレバーを手前に倒しておきます。



【図-12】

2. 【図-12】ディスプレイブラケット部のフックを本体マウントのレール部に引っ掛けます。
3. 左右ブラケットのレバーを本体側に収納します。

警告：このとき、ディスプレイの中心部はシーリングマウント側の中心と合わせるようにしてください。

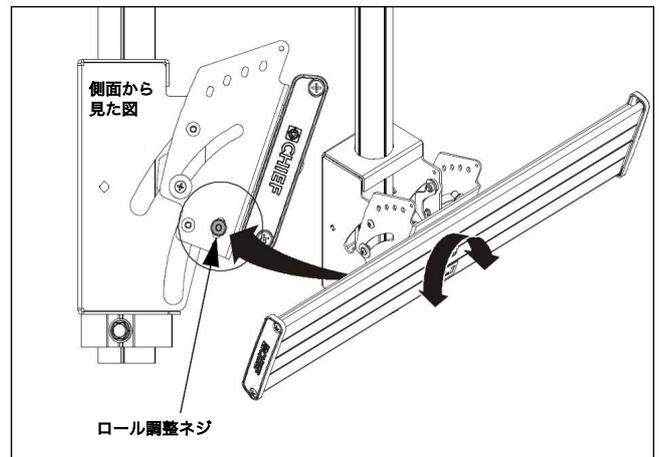


【図-13】

4. 【図-13】付属ビス(HH)でディスプレイが左右方向に滑らないように固定します。
5. 左右のブラケットを同じようにビスで固定します。

■ディスプレイの調整

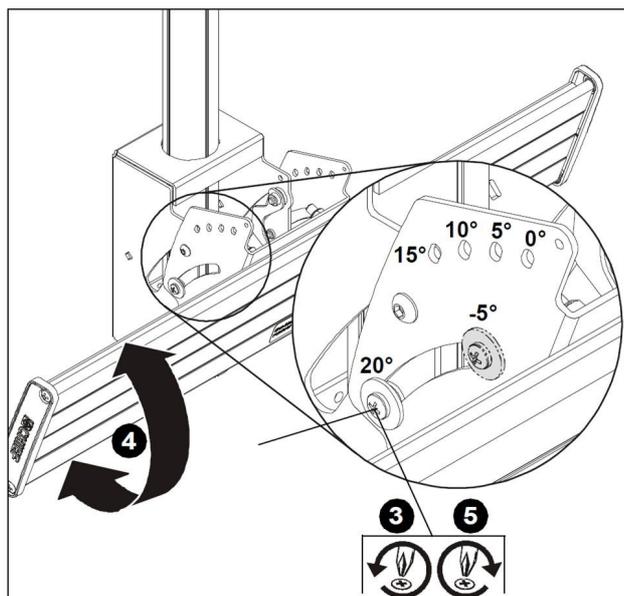
- ・回転(ロール)



【図-14】

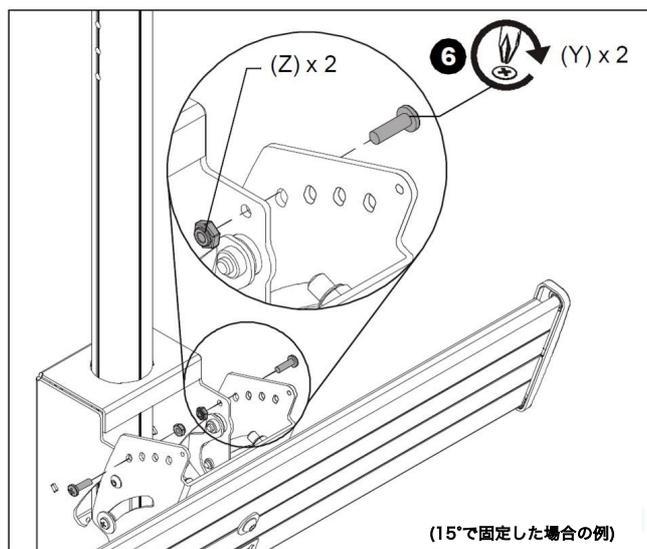
ディスプレイが正面から見て傾いている場合は、ロール調整ネジでディスプレイが水平になるように調節します。

・傾斜角度



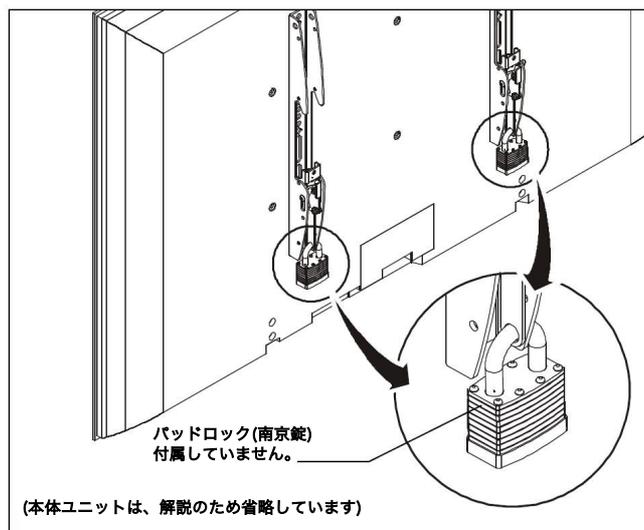
【図-15】

3. 傾斜角度調整のためにネジを緩めます。
4. 傾斜角度を調整します。
5. ネジを締めます。
ただし、0°、5°、10°、15°で固定する場合は必要ありません。



【図-16】

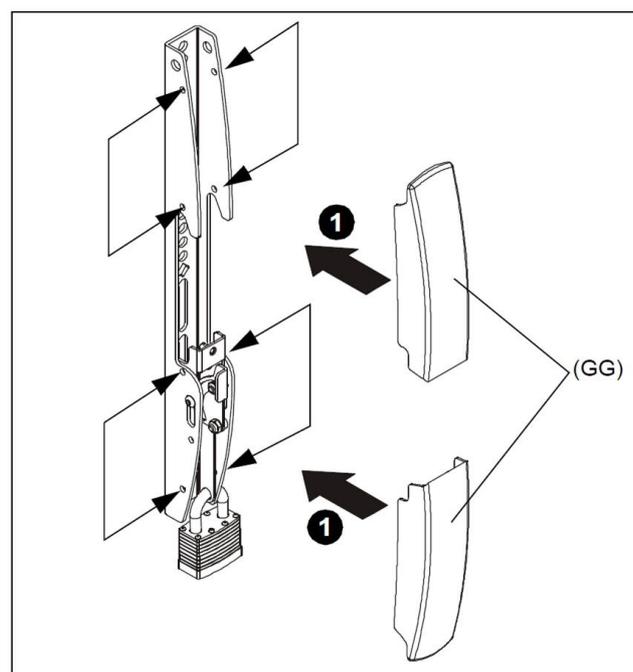
- 0°、5°、10°、15°で固定する場合、
6. 【図-16】のように付属ネジ(Y)とナット(Z)で角度調整部分のネジ穴を固定します。



【図-17】

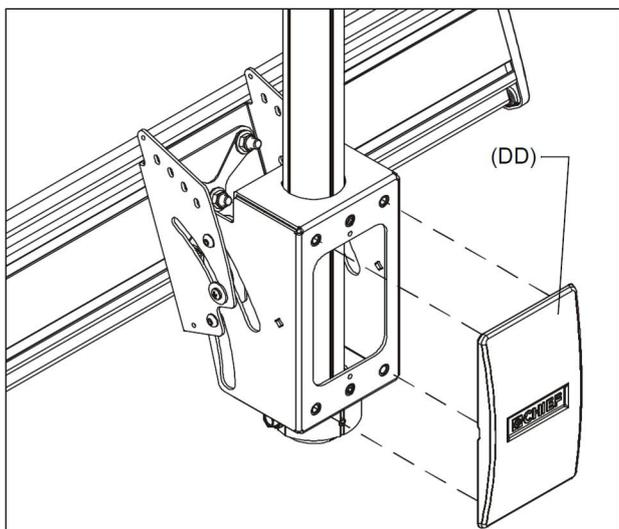
- ・必要に応じて、インターフェイス部に市販の南京錠を取り付けることも可能です。

■化粧カバーの取付け



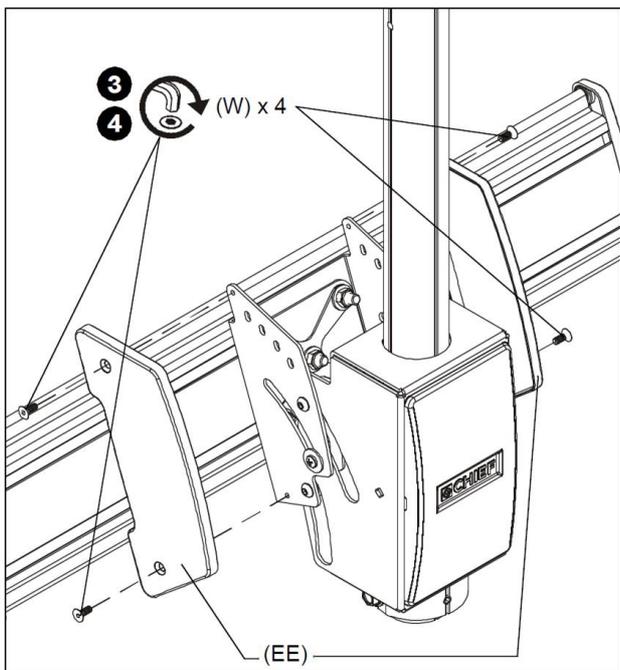
【図-18】

1. 【図-18】のように、ブラケットカバー(GG)をはめ込んでください。



【図-19】

2. 【図-19】のように、マウント側のカバー(DD)を取り付けてください。はめこみ式です。



【図-20】

3. 【図-20】のように、角度調整部の両側にカバー(EE)を付属ネジ(W)で取付けてください。